



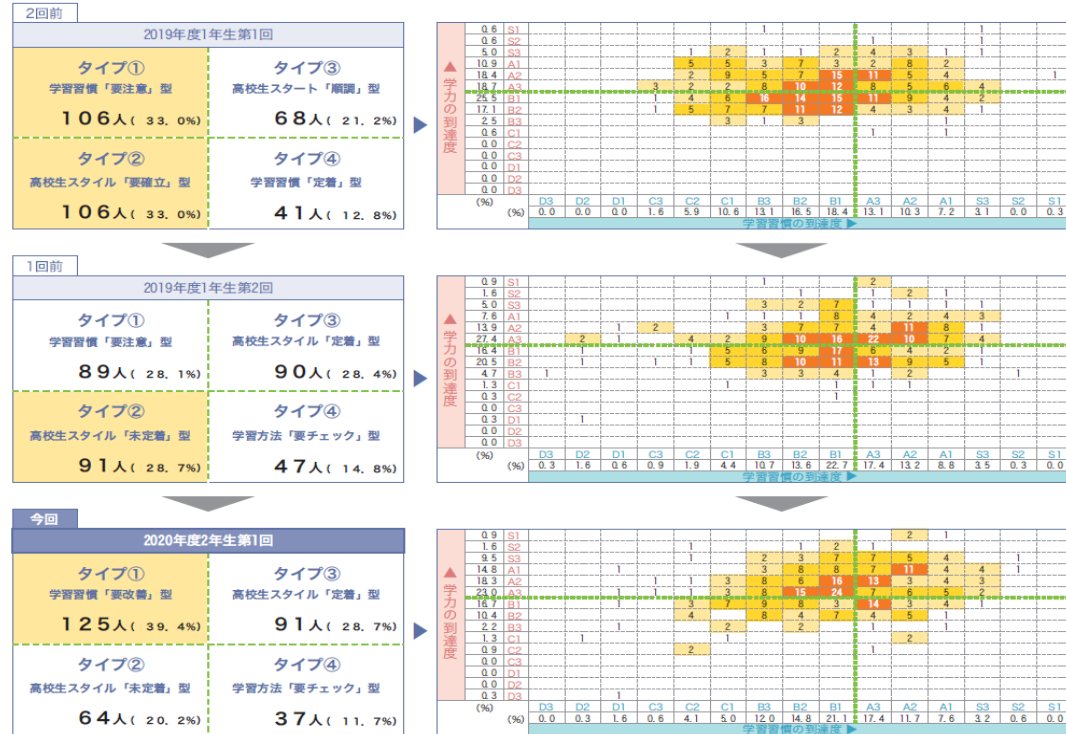
進路だより

R2.5.25
第2学年 2号
安古市高校進路指導部

<スタディサポート分析①過回推移>

●学力・学習バランス(総合)の変化 過回推移

過回は、集団の推移がしやすいよう初回(最初に受験したスタディサポート対象回)の学年平均GTZ(学力)を基準に集計しています。全体の散らばりがどのように推移しているのかをご確認ください。



上の表とグラフは4月に実施した2年生第1回スタディサポートの過回推移である。(上から1年生第1回, 1年生第2回, 2年生第1回) グラフの横軸は学習習慣の到達度, 縦軸は学力の到達度をさしている。グラフの左上タイプ①は学力は身に付いているが学習習慣が身に付いていない人, 左下タイプ②は学力・学習習慣ともに身に付いていない人, 右上タイプ③は学力・学習習慣ともに身に付いている人, 右下タイプ④は学力は身に付いていないが学習習慣が身に付いている人を示している。まず、**自分が今どこの位置にいるのかをデジタルサービスで確認してみよう。**

表を見れば, 1年生第1回, 第2回ともにタイプ②の学力・学習習慣ともに身に付いていない人のゾーンが一番のボリュームゾーンだった。しかし, 今回はタイプ①の学力は身に付いているが学習習慣が身に付いていない人のゾーンが一番のボリュームゾーンとなり学力の向上が図れていることがわかる。これは学力の高い人のゾーンであるタイプ①とタイプ③の合計人数が174人→179人→216人と増加している点からもいえる。

しかし学力が高くて学習習慣が身に付いていない人は, 学力の伸びに限界があることに注意が必要だ。学習というのは継続する習慣が重要である。短期的にはできて

もこれから待ち構えている長期的な学習となる受験勉強には学習習慣が身に付いていることが必須になる。休業中ではあるが, もう一度自分自身の学習習慣を見直し, 休業明けに学習習慣が身に付いてスタートがきれるようにしておこう。具体的には, 3点固定(起きる時間・寝る時間・勉強を始める時間)や予習・復習の確立・家庭学習時間の確保(4時間以上)が挙げられる。

さて, 逆に学習習慣が身に付いているのに学力があがっていないなあと思っている人。学習習慣が身に付いていればきっとこれから上がっていくだろう。ただそのためには工夫も必要。先生に質問する場面を増やしたり学習の質を高めたりしてみよう。変化を恐れずチャレンジしていこう。

<スタディサポート分析②受験勉強スタート>

Q. 6 受験勉強のスタート時期

選択肢	今回	前回	前年
4. 2年生の夏休み	26.8		30.7
6. 2年生の冬休み	18.9		8.2
5. 2年生の2学期(9月以降)	18.6		11.1
7. 2年生の3学期(1月以降)	13.6		9.8
3. 2年生の1学期(4月以降)	10.4		17.7

左の表は受験勉強のスタートはいつかという質問への学年全体の回答である。前年と比べると「2年生1学期」や「2年生夏休み」が減り, 「2年生冬休み」や「2年生3学期」が増えているのがわかる。つまり現3年生より受験勉強のスタートを遅く考えている人が多いということだ。では, いつがベストなのだろうか?これはもちろん個人差がある

が, 2年生の修学旅行を終えたところ(10月)から文型は地歴公民, 理型は理科へ学習の重きをおいていくようになる。そうするとそれまでに国数英については基礎基本の徹底(教科書の内容の確実な定着)を図っておきたい。つまり, 10月までにどれだけ国数英ができているかが問われ, それは受験勉強につながっていくのである。そう考えると今の2年生1学期から受験勉強を始めていても遅くないのではないだろうか?少なくとも夏休みからはスタートしていきたい。では受験勉強とは具体的になんであろうか?その1つは自律的な学習である。課題をするだけでなく目的意識をもって取り組めるかが重要である。(例えば, 小テストの範囲とは関係なく単語帳を1から覚えなおしておこうや数学のチャートをIAからやっておこうなど)

<スタディサポート分析③出来の悪かった問題をもう一度>

●学力 抜けもれ把握 抜けもれ問題

数学

小問NO	診断項目	分野名	正解率
1 24	公式利用	2次関数	56.8%
2 21	公式利用	数と式	62.1%
3 14	公式利用	数と式	63.2%

国語

小問NO	診断項目	小問群名	正解率
1 18	現代文評論読解	表現技法への着眼	10.4%
2 36	古文知識	単語の知識	11.0%
3 50	漢文知識	訓読のルール	14.5%

英語

小問NO	診断項目	小問群名	正解率
1 8	語彙	イディオム	23.0%
2 7	語彙	基本単語の用法	36.9%
3 6	語彙	イディオム	40.4%

上の問題はスタディサポートの結果から出来が悪く取り組んでほしい問題なので, ぜひもう一度復習しておこう。